

# Hondaエコマイレージチャレンジ2026 第17回もてぎ大会 車検チェックリスト

2026.5.30

総合判定

- ・車検を受ける前に、太枠内の必要記載事項を記入し、チェック内容に沿って「車検前参加者自主チェック」欄を記入してください。
- ・出走できる状態の車両/ドライバー・ライダー装備で車検を受けてください。
- ・車検の際には、マシンについて技術的な質問に答えることができる方が必ず同行してください。

グループ (Oを付けてください)	ゼッケンNo	チーム名	マネージャー氏名
CNグループⅠ：中学生クラス			
CNグループⅡ：高校生クラス			
CNグループⅢ：大学/短大/ 高専/専門学校生クラス			
CNグループⅣ：一般クラス			
CN二輪車クラス CN二人乗りクラス			

項目	チェック内容	車検前参加者 自主チェック	車検委員 判定
ドライバー装備	ヘルメットは規格に適合していること。(JIS T8133、SNELL等 規則書13ページ 第10項参照)	OK : NG	
	長袖、長ズボン、グローブ、靴下、靴を装着のこと。	OK : NG	
ゼッケン	ゼッケンが所定箇所に貼付されていること。	OK : NG	
車体	他に危害を与える鋭いエッジや突起がないこと。	OK : NG	
排気管	エキゾーストパイプ(排気管)は車体端面から5cm以上出ないこと。	OK : NG	
ブレーキ	操作部(レバー等)を含め <b>独立した</b> 2系統装着のこと。操作しやすく、取付は確実であること。	OK : NG	
安全性	カウルの留具の場所にカウルを開ける方向を示した適切なサイズ、色の矢印マークをペイントあるいはステッカーで明示すること。	OK : NG	
隔壁	エンジンとドライバーの間に難燃性材料で適切なサイズの隔壁を設けること。	OK : NG	
トランスポンダ	カウル外側の <b>指定された位置、向き</b> で装着すること。	OK : NG	
	トランスポンダと路面の間(トランスポンダの下方向)には遮断する物質がないこと。 カーボンボディの車体はトランスポンダとボディの間が4cm以上離れていること。	OK : NG	
燃料配管	キャブレター車両は <b>燃料タンクからキャブレターまで</b> 。 インジェクション車両は <b>低圧部の配管は耐ガソリン性透明チューブ</b> のこと。	OK : NG	
	燃料配管内に空気および燃料蒸気が滞留しないこと。	OK : NG	
スターター装置	正常な運転姿勢から始動でき、スターター装置は車両に駆動力を与えないこと。 <b>※車検員から指示があった際は各スイッチを説明すること。</b>	OK : NG	
エンジン	ベースエンジンはHonda製4ストローク(総排気量150cc未満であること。)	OK : NG	
	潤滑オイルはタイヤ、ブレーキにかからないこと。	OK : NG	
	潤滑オイルが車外に流出することを防止するため、 <b>十分な大きさ、容量の受皿</b> を適切な方法で取り付けること。	OK : NG	
キャブレター 装着車	ドレンからフロート室の燃料を排出可能であること。	OK : NG	
	ソレノイド等の燃料遮断装置はイグニッションスイッチと連動のこと。負圧コック禁止。	OK : NG	
改造内容	フロート室の改造やオリフィス等の流量制御装置はあるか?	有 : 無	
改造内容	車両構造申請書に記載していない改造箇所、もしくは変更点はあるか?	有 : 無	
燃料タンク	脱着および、スタート前の燃料微調整が容易に行えること。	OK : NG	
車体	車両が有している車輪が全て常時接地していること。 (全クラス) 規定の車体寸法のこと。	OK : NG	
前方視界	正常な運転姿勢で正面から左右90°の範囲が見通せること。	OK : NG	
後方視界	左右に面積40cm <sup>2</sup> 以上のバックミラーを備えること。後続車両の状況が見通せること。	OK : NG	
安全脱出	ドライバーは工具無しで直ちに車両から脱出できること。外部から救出容易なこと。	OK : NG	
静止能力検査	11°勾配の試験板上で車両が停止していること。		

## 特記事項その他

--